

名 称	令和6年度 第1回 目黒区障害者自立支援協議会 本会議
日 時	令和6年6月28日（金）午後6時～午後8時
会 場	総合庁舎本館4階 政策会議室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1）目黒区障害者自立支援協議会の体制等見直しについて</p> <p>（2）その他報告事項</p> <p>3 その他</p> <p>【今後の日程】 令和6年10月25日（金）午後6時～午後8時 目黒区総合庁舎本館4階 政策会議室</p> <p>4 閉会</p>
出席者	<p>委員：岩崎委員（会長）、北本委員（副会長）、岸井委員、渥美委員、村松委員、田島委員、長谷委員、三木委員、橋本委員、池田委員、野村委員、白鳥委員、松原委員、江見委員、徳永委員、阿部委員、水野委員、田中委員（保健予防課長）、山内委員（障害者支援課長）、櫻庭委員（障害施策推進課長）、佐藤委員（子育て支援課長）、末木委員（教育支援課長）</p> <p>その他区職員：保坂（健康福祉部長）、浅野（身体障害者相談係長）、石田（知的障害者相談係長）、田所（精神・難病係長）、長谷川（発達支援係長）、松崎（すくすくのびのび園園長）</p> <p>事務局：水野（計画推進係長）、渡邊・蓮井（計画推進係）、岡村・小野寺（基幹相談支援センター）</p>
欠席者	重盛委員、島添委員、駒井委員
配布資料	<p>資料1-1：体制見直しのポイントと課題検討の流れ（イメージ図）</p> <p>資料1-2：課題抽出シート（パターンA：課題先行型）</p> <p>資料1-3：課題抽出シート（パターンB：事例先行型）</p> <p>資料1-4：解決策検討シート</p> <p>資料1-5：専門部会からの課題抽出について</p> <p>資料2：相談支援部会事例検討会について</p> <p>資料3：令和6年度目黒区障害者自立支援協議会イベントについて</p> <p>資料4：各専門部会からの報告事項</p> <p>資料5：手話言語に係る条例制定に向けた取組について</p> <p>資料6：精神障害者退院相談支援事業 事業実績</p> <p>資料7：発達障害支援拠点ぽると 事業実績</p> <p>資料8：目黒区基幹相談支援センター 事業実績</p> <p>資料9：地域生活支援拠点 事業実績</p> <p>資料10：精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組 事業実績</p> <p>資料11：「目黒区特別支援教育推進計画（第五次）」策定の進め方について</p> <p>参考資料1：目黒区附属機関の設置に関する条例</p> <p>参考資料2：目黒区障害者自立支援協議会運営要綱</p> <p>参考資料3：協議会の体制見直しイメージ図</p> <p>当日配布資料：パンフレット「こころの相談」</p>

会議内容

1 開会

会長による開会挨拶。

事務局による配布資料確認。

東京都からの依頼により、相談支援従事者現任研修の研修生4名が見学。

会長

傍聴申請があるが協議会の公開について異議はあるか。異議はないため傍聴を許可する。
傍聴者入室。

会長

委員の変更が生じたため、新たに就任した2名の委員について紹介する。
議題に移る前に、事務局から協議会の位置づけについて説明を行う。

障害施策推進課長

参考資料1及び参考資料2に基づいて説明を行った。

協議会は、区政執行における専門的な意見を聴く場として一定の権限を有する合議制の付属機関に移行したことから、次の①及び②の規定を新設し、協議会として一致した意見であることを担保することとした。

①委員の3分の2以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

②協議会の議事は、出席委員の3分の2以上の多数で決する。

その他の要綱規定については、体制見直しを踏まえ、実態に合ったものとなるよう整備する予定である。

また、付属機関への移行に伴い、23区外の居住地から会議に出席する委員に対し、会議出席に要した交通費相当額を支給する。

2 議題

(1) 目黒区障害者自立支援協議会の体制等見直しについて

会長

「体制見直しのポイントと課題検討の流れ」について事務局から説明をお願いする。

事務局

資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4に沿って説明を行った。

●課題提起・検討の流れは、相談支援部会と子ども部会における事例検討により課題を提起し、新運営会議での議論を経て、本会議の場で再度ご検討・方針の決定をいただくという流れとなる(資料1-1)。

●新運営会議では、専門部会が考える課題の解決策等について、議論を深め、長期的な解決策と、現存する社会資源等を活用して代替的に取り組むことができる短期的な解決策について具体化を図る。

●事務局は専門部会が抽出した課題とその解決策を記録する様式(資料1-2及び1-3)と、新運営会議での更なる検討内容を記録する(資料1-4)を使用することを提案する。

●新運営会議の構成員については、資料1-1に記載のとおり、部会が検討に必要と考え

るメンバーを中心に、事務局が招集を行う予定。

- 新運営会議が実質的な検討機関として位置づけられることに伴い、これまで実施していた各部長を参加者の中心とした旧運営会議の取扱いについては、令和6年度の第2回目から開催しないものとする（各部長にはご承諾をいただいた。）。
- 各専門部会の活動報告について、体制見直しの試行期間である今年度においては、第2回及び第3回の本会議にてこれまでどおり活動報告を求めていく。令和7年度以降は、相談支援部会、子ども部会及び各連絡会には、毎年度当初の第1回目の本会議において活動報告をお願いしたい。
- 協議会への当事者の参画について、参画すべきとの議論の結果であれば、関係機関と連携し、事務局の方で委員候補者について検討していく。候補者については、第2回本会議で提示し、委員の意見を求めたい。

令和6年度のスケジュールについて、資料1-5に沿って説明を行った。

会長

課題抽出の中心となる相談支援部会と子ども部会から、現在の進捗について報告をお願いする。

相談支援部会

資料2に沿って説明を行った。

子ども部会

「多職種とつながる」を年間テーマに掲げ、「不登校」、「医療的ケア児」、「強度行動障害」、「保育所等訪問支援」の4事例を通し、考えられる地域課題を抽出していく。

会長

事務局から提案があった課題提起の方法やスケジュールについて委員から意見を求めたい。

事務局

必ずしも提案した様式例を使用する必要はないため、相談支援部会や子ども部会は適宜修正等を行い、使用していただきたい。

会長

実際に使用してからでないといけない部分もあるため、事務局案を活用してみたいということの良いか。また、スケジュール案についても了解したということの良いか。

委員

異議なし。

会長

続いて、新運営会議に招集するメンバーについて委員から意見を求めたい。

副会長

招集メンバーを決める期限を事務局が提示してはどうか。

一般就労部会

この場で具体的に招集メンバーを検討・承認するのは難しい。この場においては、事務局と部会の間で合意したものを本会議の場で事後承認することとして良いか確認してはどうか。

会長

人数や報酬費等についてはどうか。

事務局

人数が多い方が意見は多く出るが、現時点で具体的な数は決まっていない。ただ、これまでの旧運営会議よりも人数が多くなることは想定していない。新運営会議については報償費を支払う予定であるため協力をお願いしたい。

会長

事務局からの報告をもって事後承認する方向で良いか。他に意見のある委員はいるか。

防災部会

新運営会議は夜間の開催なのか。日中開催を希望する声もある。仮に部会員から事例を出すこととなった場合、夜間の開催だと招集メンバーの負担になるのではないか。

事務局

現時点では夜間の開催を考えているが、参加者の都合により調整可能か検討する。

会長

夜間の開催について相談支援部会や子ども部会はどうか。

子ども部会

部会員の都合があるため、部会員に確認しないとわからない。

事務局

今後の検討課題とする。検討結果次第では、先ほどスケジュールについて承認を得たが、今後変更の可能性がある。

会長

2つの部会と各連絡会について、年度初めに前年度中の活動報告を行う点についてはいかがか。令和7年度第1回の本会議で活動報告をお願いすることとなるが、連絡会に移行する専門部会も異議はないか。

委員

異議なし。

会長

最後に協議会への当事者参画について意見を求めたい。事務局からは第2回本会議で検討できるよう提案するとの説明があったが、当事者の参画についてどうか。

委員

異議なし。

会長

目黒区でも当事者の参画を進めていく方針で良いか。次回具体的な議論をしたい。

事務局

推薦したい方、障害種別等どのような方が適切なのか等、提案があれば事務局の方に意見をお願いしたい。

(2) その他報告事項

1. 令和6年度目黒区自立支援協議会イベントについて

会長

令和6年度目黒区自立支援協議会イベントについて報告をお願いする。

イベント委員代表者

資料3に沿って報告を行った。

昨年度の活動内容に加え、各事業所のイベントを活用した、ポスター掲示等による周知活動についても承認を得たい。

会長

異議なしということで良いか。

委員

異議なし。

2. 専門部会からの報告事項

相談支援部会

資料4に沿って報告を行った。

高齢化・グループホーム対策部会

資料4に沿って報告を行った。

一般就労部会

資料4に沿って報告を行った。

資料には記載ないが、6月24日に開催された部会の内容を報告する。昨年度と同内容で年4回程度活動する方針となった。施設見学を1回行う他、施設就労部会と合同開催で制度改正につながるような情報交換を行いたい。

施設就労部会

資料4に沿って報告を行った。

第1回開催が7月4日（木）のため、一般就労部会からの提案についても検討する。

子ども部会

資料4に沿って報告を行った。

意思疎通支援部会

資料4に沿って報告を行った。

集まることが難しく解散の案も出たが、継続を望む声があり続けていく方針となった。

防災部会

資料4に沿って報告を行った。

会長

子ども部会と防災部会については、本会議で協議したい事項が挙げられているが、区の回答をお願いしたい。まず、子ども部会の協議事項についてどうか。

教育支援課長

第2回の本会議で説明する。

会長

防災部会からの協議事項についてはどうか。

障害施策推進課長

情報伝達の方法については、伝達の仕組みが整っていないため、今後検討したい。災害協定については、令和6年度から区の災害本部の組織を機能別に見直すこととなった。情報発信方法についてご意見を伺うことがあるかもしれないが、ご対応いただきたい。

3. 区からの報告事項

会長

区からの報告をお願いします。

障害者支援課長

手話言語に係る条例制定に向けた取組について、資料5に沿って報告を行った。

精神障害者退院相談支援事業実績について、資料6に沿って報告を行った。

発達障害支援拠点ぽると事業実績について、資料7に沿って報告を行った。

障害施策推進課長

令和5年度基幹相談支援センター事業実績について、資料8に沿って報告を行った。

令和5年度地域生活支援拠点事業実績について、資料9に沿って報告を行った。

保健予防課長

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組（令和5年度実績）について、資料10に沿って報告を行った。

目黒区「こころの相談」リーフレットについて紹介した。

教育支援課長

「目黒区特別支援教育推進計画（第五次）」策定の進め方について、資料11に沿って報告を行った。

会長

意見・質問のある委員はいるか。

意思疎通支援部会

失語症会話パートナーの有料化について目黒区でも検討してほしい。昨年から依頼しているが、進展がない。

障害者支援課長

失語症パートナーの事業化を検討中であるため、進展があったら報告する。

会長

委員の方から補足はあるか。

委員

精神障害者退院相談支援事業は、この3年の間に少しずつ関係機関と連携が取れるようになってきた。基幹相談支援センターとも連携し病院アンケートを実施した。その後改めて病院へ連絡を取る等、新規依頼の掘り起こしにも取り組んでいる。

委員

基幹相談支援センターについては、職員が定着しない課題はあるものの、着実に地域の相談員や部会との関係性が構築できているように感じる。

委員

地域生活支援拠点については、これまで第三者からの評価を受けていなかったが今後は活用していく方針。取り組めていること、そうでないところを整理し機能強化の充実につなげていきたい。

会長

他に意見・質問はあるか。

副会長

資料8、資料9について、相談内容の枠組みが異なるため、統一されていると比較しやすいのではないかと。ケース対応の詳細が不明瞭なところがある。決まっているフォーマットなのか。

事務局

これまで同じ内容で件数を取っていた。フォーマットは決まっている。

3 その他

会長

事務局から今後の予定について説明をお願いしたい。

事務局

相談支援部会から提起された課題について関係者を招集し、具体的に議論を行う新運営会議を令和6年9月27日（金）に開催する。新運営会議で議論された内容は令和6年度第2回本会議にて報告し、改めて意見を伺う。

令和6年度第2回本会議の日程については、令和6年10月25日（金）の午後6時から午後8時までを予定している。場所は、本日同様、目黒区総合庁舎本館4階政策会議室を予定している。詳細については、決まり次第連絡する。

次回以降の本会議資料の取扱いについて、事務局としてはペーパーレス化を推進していることから、原則として、資料の事前送付時はデータのみ送付することとしたい。

会議当日は、紙資料を各委員の座席に配布する予定であるが、PC等の持参により紙資料の配布は不要とご回答頂ける場合は、事務局宛てに申し出をお願いしたい。

4 閉会